

## 第二回「木と合板」写真コンテスト 選考結果

### ◆一般の部◆

#### 最優秀賞



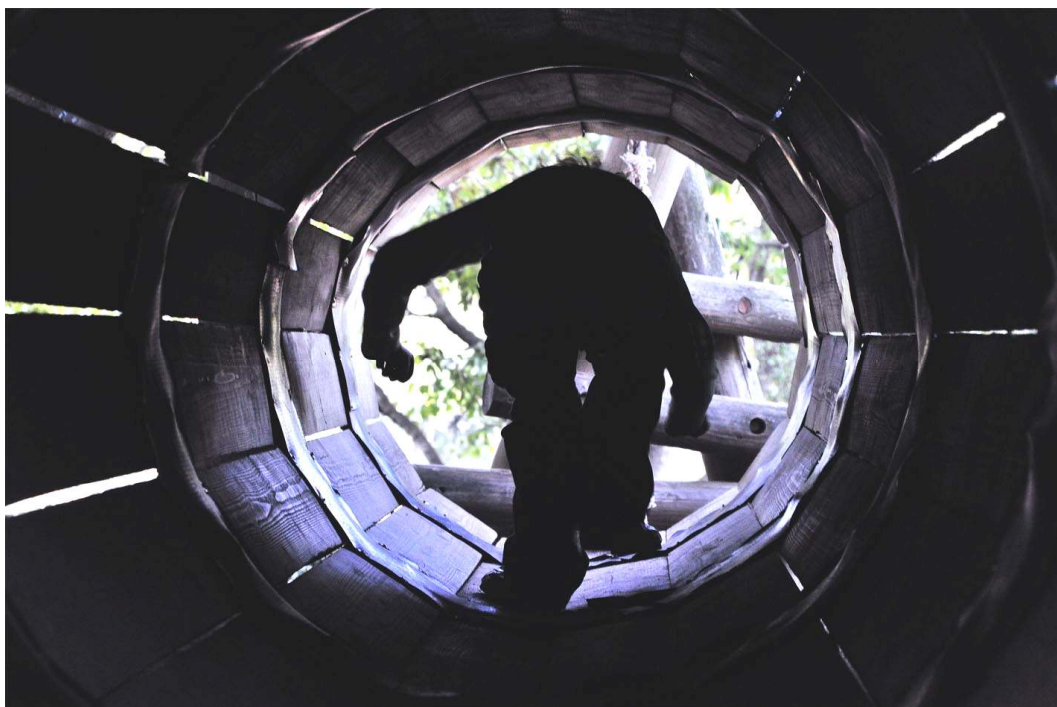
『涼しくな〜れ!』

平野昌子 (神奈川県)

#### 講評

間伐材の利用は、木材・合板博物館として日々訴えていることです。子供たちの笑顔と博物館のテーマの一つが見事に一致した作品でした。いきいきとした表情に感動！躍動感のある写真ですね。

## 優秀賞



『夢のトンネル』

清水進（神奈川県）

### 講評

全体の構図がいいですね。トンネルの向こうを感じさせる奥行きのある作品ですね。冒険心をくすぐるような、木の遊具のよさが出ていると思います。

◆5・7・5 の部◆

最優秀賞



「花も葉も すべて本物 十八金」

『黄金の樹』 永木宏 (埼玉県)

**講評**

年をとっても、誰もいなくても、毎年欠かさず十八金で身を飾って  
居住まいを正す君をヒトも見習いたいと思います。句と絵のバラン  
スは絶品中の絶品でした。

## 優秀賞



「たべたいな あの木ぐらいの かき氷」

『夏木氷(かきごおり)』

小原弘道(東京都)

### 講評

大きなかき氷が食べたかったんですね。

最初はタイトルを見て不思議に思いましたが、写真を見て納得。本当に山盛りのかき氷のような木の形ですね。女の子が木のほうを見ていたら、さらに食べたい気持ちが伝わってきそうです。

◆学生の部◆

最優秀賞

該当なし

優秀賞



『夏の教室。』

小川成美(奈良県)

**講評**

「学校の教室」…机や床、ロッカーと、意外と気付かないけれど、たくさんの木が使われています。何気ない一場面に、木と人との触れ合いがあって微笑ましいですね。